

千葉県福祉サービス第三者評価の評価結果
(保育所等 小規模)

1 評価機関

名 称	特定非営利活動法人 ACOBA
所在地	千葉県我孫子市本町3-4-17
評価実施期間	令和7年7月1日～令和7年9月12日

2 受審事業者情報

(1) 基本情報

名 称 (フリガナ)	ドレミルーム ドレミルーム		
所在地	〒270-2243 千葉県松戸市野菊野7-2 1階		
交通手段	JR常磐線 松戸駅下車 バス10分		
電 話	047-712-0883	F A X	047-308-5901
ホームページ	https://sawarabi-fukusikai.or.jp/		
経営法人	社会福祉法人 さわらび福祉会(昭和45年4月設立)		
開設年月日	平成27年9月1日		
併設しているサービス	なし		

(2) サービス内容

対象地域									
定 員	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計		
		5	7				12		
敷地面積	50.46㎡			保育面積			30.47㎡		
保育内容	0歳児保育		障害児保育		延長保育		夜間保育		
	休日保育		病後児保育		一時保育		子育て支援		
健康管理	定期健康診断、歯科検診(2歳児)								
食事	幼児食・手作りおやつ・アレルギー対応(除去食)								
利用時間	7:00~19:00(土曜日:7:00~18:00)								
休 日	日曜・祝日・年末年始(12月29日~1月3日)								
地域との交流	夏まつり・運動会(連携園と合同)								
保護者会活動	保護者会はなし								

(3) 職員（スタッフ）体制

職 員	常勤職員	非常勤、その他	合 計	備 考
		2名	2名	4名
専門職員数	保育士(幼稚園教諭含む)	看護師	栄養士	
	4名			
	保健師	調理師	その他専門職員	

(4) サービス利用のための情報

利用申込方法	松戸市役所 保育課に申請	
申請窓口開設時間	市役所開所時間（8：30～17：00）	
申請時注意事項	保護者が就労、あるいは病気により家庭保育に欠けるなどの事情	
サービス決定までの時間	前月15日までに申し込み、市役所保育課で検討後決定される	
入所相談	保育課窓口 保育園窓口	
利用代金	松戸市役所の基準（所得税金額）により決定	
食事代金	保育料に含まれている	
苦情対応	窓口設置	あり
	第三者委員の設置	あり

3 事業者から利用（希望）者の皆様へ

<p>サービス方針 (理念・基本方針)</p>	<p>【法人方針】 子どもたちの一人ひとりが持っている輝きを大切にします。人間形成の基礎となる乳幼児期に大人から愛情をしっかりと受け、未来への希望をもって輝き、成長していく子どもたちであってほしいと願っています。知育・徳育・体育のバランスのとれた人間形成を目指します。</p> <p>【ルームの基本方針】 ○当ルームは、保育・教育の提供にあたっては、入園する乳幼児の最善の利益を考慮し、その福祉を積極的に増進することに最もふさわしい生活の場を提供するように努めます。 ○当ルームは、保育・教育に関する専門性を有する職員が、家庭との緊密な連携の下に、乳幼児の状況や発達過程を踏まえ、養護及び教育を一体的に行います。 ○当ルームは、利用乳幼児の属する家庭や地域との様々な社会資源との連携を図りながら、利用乳幼児保護者に対する支援及び地域の子育て家庭に対する支援等を行うよう努めます。</p>
<p>特 徴</p>	<p>○一人ひとりの心に寄り添い、成長や発達に応じたきめ細やかな保育を行っています。</p> <p>○連携園から温かい給食を運び提供しています。また、連携園の行事（夏まつり・運動会等）と一緒に参加し、交流を図っています。</p>
<p>利用（希望）者 へのPR</p>	<p>○少人数保育の良さを活かし、スキンシップを重視した豊かな人間性を育む保育を心がけ、保護者から信頼される保育施設を目指します。</p> <p>○子どもの人権を第一に優先し、温かい笑顔と愛情を持って保育にあたるように心がけています。</p>

福祉サービス第三者評価総合コメント

特に力を入れて取り組んでいること

1. 法人の各種子育て支援施設と連携した恵まれた環境の小規模ルーム

当ルームは野菊野こども園を中心に法人の運営する様々な子育て支援施設がある一角にあり、その利点を十分に生かした保育の実践がなされている。隣接するこども園で開催される関係施設合同の夏まつりに参加したり、第二園庭は園児の散歩や運動にも利用できる。隣接する子育て支援センターとの連携、リヴクルー野菊野では児童発達支援が受けられる。また、法人の運営する病児・病後児保育室「ラポールマツド」も安心して利用出来て、保護者にとっては心強い環境となっている。法人はさわらび福祉会の目指す職員像を示すと同時に、法人の運営する各種の幅広い子育て支援施設内での異動や交流を図り、職員の総合的な育成と成長を積極的に支援している。職員は様々な経験や知識を得ることが出来る機会にも恵まれており、経験を積んだ職員によるルーム運営に対する保護者アンケートでの満足度も高い。

2. 遊びが広がる保育室と発達に合わせた手作り玩具

保育室は整理整頓され清潔感が感じられる。1、2歳児の保育室はパーテーションで区切られているが、仕切りをとるとワンルームになり運動遊びや机上遊び、コーナー遊びなど保育活動に応じて活用している。こどもの手の届く高さの木製の棚には発達に即した玩具があり自由に取り出せるようになっている。職員の手作り玩具もあり、電子レンジや電車など本物そっくりの完成度である。特に、この時期に必要な手先、指先を使い、巧緻性を養う職員の手作り玩具が豊富である。安全な素材やカラフルな色合いに配慮している。既製品の玩具に一工夫加えたり、こども達の好きな絵本のキャラクターのデザインを取り入れたり、職員の思いがこもったアイデア玩具は、遊びの意欲を育てる取り組みである。

3. 様々な学びと成長が感じられる異年齢保育

登園後は毎日1、2歳児と一緒に遊んだり、給食を食べている。異年齢保育が日常的になっている。1、2歳児同じテーマの折り紙制作を送迎時に保護者からも見える壁に掲示するなど保護者にもこどもの成長がわかる。絵本の読み聞かせは毎日4、5冊としている。その結果、本が大好きで図鑑や絵本にも興味を示している。こども達は、日々の関わりの中で年上の子が年下の子を助けたり、下の子は、憧れや模倣で挑戦する力が育つなど思いやり、責任感、協調性を学び、創造性を養える異年齢保育となっている。定員が少なく、こども同士やこどもと保育士との関係が密で、安定した関係が醸成されている。

4. 子育てを一緒に支え合う職員と保護者の信頼関係

職員は送迎時の会話やルームだより、アプリを活用して事務連絡や毎日の保育ドキュメンテーションを配信し保護者とのコミュニケーションを大切にしている。今年の8月からは、全保護者対象の個人面談を実施し、一人ひとり十分な面談時間をとるようにした。保護者のトイレトレーニングなどの発達の個別相談も多く家庭と連携してのアドバイスができ、詳細な個々の聞き取りの記録は支援に役立っている。懇談会では、親子ふれあい遊びや、親子制作参加のほか、こども達の日常の様子をスケッチブックにまとめアルバムを作成し、公開した。懇談会後の保護者アンケートでは、『あらためてこどもの様子に気づいたことがあった』『真剣に子ども達と向き合って下さり感謝している』などの声が多数上がっている。これらの声(意見)は保護者の声を傾聴しながら職員と保護者との信頼を築いてきた成果と思われる。

さらに取り組みが望まれるところ

1. 地域との連携やルームの特色づくり

当ルームは法人内の機関との連携には恵まれており、ルーム内の活動は充実しているが地域との連携をさらに進めることが今後必要と思われる。散歩コースでは市場の魚屋など地域と子どもとの交流は盛んであるが、ルームの持つ社会資源を地域に還元していく可能性も今後模索していくことが期待される。さらに規模は小さくともルームの独自性をどう創出していくかも今後の課題であると思われる。

2. 週・日案の書式設定

現在、1、2歳児の週・日案が共通書式で1枚にまとめられていて、全体の流れは、把握し易い一方で、年齢ごとの発達に応じた計画や支援内容が十分に明確化されていないので、年齢別の記載や欄を分けることで、より振り返りも具体化され、効果的になることが期待される。

(評価を受けて、受審事業者の取組み)

第三者評価機関の方々からの評価やアドバイス、保護者の皆様のアンケートによる貴重なご意見を真摯に受け止め、今後の保育に活かしてまいります。またこれからも子どもたちが安心して毎日笑顔で過ごしていけるよう、質のよい保育を提供していきます。そして、地域との交流を深めつつ、ルーム独自の活動をアピールし、地域に貢献できる存在になることができるよう、職員一同努力してまいります。

福祉サービス第三者評価項目（保育所等）の評価結果（ドレミ）

大項目	中項目	小項目	項目	標準項目			
				☑実施数	□未実施数	☒非該当	
I	福祉サービスの基本方針と組織運営	1 理念・基本方針	理念・基本方針の周知	1 理念や基本方針が明文化され、職員に周知・理解されている。	4		
			2 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	3			
		2 計画の策定	計画の適正な策定	3 事業計画が適切に策定され、計画達成のための重要課題が明確にされている。また、事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが話し合う仕組みがある。	7		
				4 理念の実現や質の向上、職員の働き甲斐等に取り組み指導力を発揮している。	4		
		4 人材の確保・養成	人事管理体制の整備	5 全職員が遵守すべき法令や倫理を明示し周知している。	3		
				6 事業所の就業関係の改善課題について、職員（委託業者を含む）などの現場の意見を幹部職員が把握し改善している。また、福利厚生に積極的に取り組んでいる。	7		
			職員の質の向上への体制整備	7 ミル 人事方針を策定し、人事を計画的・組織的に行い、職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	5		
				8 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	4		
				9 職員の教育・研修に関する基本方針が明示され、研修計画を立て人材育成に取り組んでいる。	5		
II	1 利用者本位の保育	利用者尊重の明示	10 全職員を対象とした権利擁護に関する研修を行い、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している。	3			
			11 個人情報保護に関する規定を公表し徹底を図っている。	4			
			12 利用者満足度の向上を意図した仕組みを整備し、取り組んでいる。	4			
		利用者満足度の向上	12 利用者満足度の向上を意図した仕組みを整備し、取り組んでいる。	4			
		利用者意見の表明	13 苦情又は意見を受け付ける仕組みがある。	4			
	2 教育及び保育の質の確保	教育及び保育の質の向上への取り組み	14 教育及び保育内容について、自己評価を行い課題発見し改善に努め、教育及び保育の質の向上を図っている。	3			
			15 提供する教育及び保育の標準化	15 社会福祉 提供する教育及び保育の標準的実施方法のマニュアル等を作成し、また日常の改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。	4		
	3 教育及び保育の開始・継続	教育及び保育の適切な開始	16 保育所等利用に関する問合せや見学に対応している。	2			
			17 教育及び保育の開始に当たり、教育及び保育方針や内容を利用者に説明し、同意を得ている。	4			
	4 子どもの発達支援	教育及び保育の計画及び評価	18 保育所等の理念や教育及び保育方針・目標に基づき全体的な計画が適切に編成されている。	4			
			19 全体的な計画に基づき具体的な指導計画が適切に設定され、実践を振り返り改善に努めている。	5			
			20 項目別実施サービスの質	20 子どもが主体的に活動できる環境が整備されている。	6		
			21 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。（非該当）			5	
			22 1・2歳児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	5			
			23 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。（非該当）			5	
			24 身近な自然や地域社会と関わられるような取組がなされている。	4			
			25 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	6			
			26 特別な配慮を必要とする子どもの教育及び保育が適切に行われている。	6			
			27 保育時間の長い子どもに対して配慮がなされている。	4			
			28 家庭との連携が十分図られている。	3			
			29 地域社会との連携が十分図られている。	3			
			30 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応に努めている。	3			
			子どもの健康支援	31 子どもの健康状態、発育、発達状態を適切に把握し、健康増進に努めている。	3		
	32 感染症、疾病等の対応は適切に行われている。	4					
	33 食育の推進	33 食育の推進に努めている。		5			
	5 安全管理	環境と衛生	34 環境及び衛生管理は適切に行われている。	3			
			35 事故発生時及び事故防止対策は適切に行われている。	4			
			36 災害対策	36 地震・津波・火災等非常災害発生時の対策は適切に行われている。	6		
	6 地域	地域子育て支援	37 地域ニーズを把握し、地域における子育て支援をしている。	5			
	計				149	0	10
				☑実施数	□未実施数	☒非該当	

項目別評価コメント（小規模保育）

（保育所等 小規模）

標準項目 整備や実行が記録等で確認できる。 確認できない。 非該当

	評価項目	標準項目
1	理念や基本方針が明文化され、職員に周知・理解されている。	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・基本方針が法人・保育所等の内部文書や広告媒体（パンフレット、ホームページ等）に記載されている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針を事業所内の誰もが見やすい箇所に掲示し、職員配布文書に記載している。
		<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針を会議や研修において定期的に取り上げ職員と話し合い共有化を図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針の実践を日常の会議等で話し合い実行面の反省をしている。
<p>（評価コメント）</p> <p>法人およびルームの理念や基本方針はホームページやパンフレット、ルームの玄関や保育室に掲示されている。定期的に発行されるルームだよりにも保育方針として明記されている。年度初めには法人の理念や保育目標・心得等を職員に周知・理解の機会を設け、全職員に常に携帯可能なフィロソフィーノートを配布している。職員間では定期的に会議や研修を通して理念の理解と実践に努めている。</p>		
2	理念や基本方針が利用者等に周知されている。	<input checked="" type="checkbox"/> 契約時等に理念・方針が理解しやすい資料を作成し、分かりやすい説明をしている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針を保護者に実践面について説明し、話し合いをしている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針の実践面を広報誌や手紙、日常会話などで日常的に伝えている。
<p>（評価コメント）</p> <p>ルームの玄関には「かがやきは、未来の芽」から始まる知育・徳育・体育のバランスのとれた人間形成を目指していることがカラー刷りで掲示されている。入園案内には理念・方針が保育理念、基本方針に分けてわかりやすく説明されている。日常の登降時にも理念・基本方針に基づいた実践を伝えている。またルームだよりにも理念・基本方針は文頭に記述され、利用者に周知されやすいよう配慮されている。</p>		
3	事業計画が適切に策定され、計画達成のための重要課題が明確にされている。また、事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが話し合う仕組みがある。	<input checked="" type="checkbox"/> 中・長期事業計画を踏まえて策定された事業計画が作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 事業計画が具体的に設定され実施状況の評価が行える配慮がなされている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 事業環境の分析及び現状の反省を踏まえ、理念・基本方針の具現化を図るための重要課題が明確にされている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 運営の透明性の確保に取り組んでいる。
		<input checked="" type="checkbox"/> 各計画の策定に当たっては、現場の状況を把握し、職員等の参画や意見の集約・反映のもとに策定されている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 方針や計画、課題は会議や研修会等にて定期的に説明し、全職員に周知されている。
<p>（評価コメント）</p> <p>ドレミルーム中長期計画（5か年）は法人本部で作成されている。事業計画の進捗状況は年度末に評価され、必要に応じて目標や取り組みの修正がなされている。またルーム職員による職員会議では日常的な情報交換、課題についての話し合いがなされ、重要課題についてはルーム長会、分社別会議、運営会でも取り上げられ課題解決に向けた方策が決定されていく。こうしたプロセスで出てきた方針は、職員会議や研修会等で全職員に周知されている。</p>		
4	理念の実現や質の向上、職員の働き甲斐等に取り組み指導力を発揮している。	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針の実践面の確認等を行い、課題を把握し、改善のための具体的な方針を明示して指導力を発揮している。
		<input checked="" type="checkbox"/> 職員の意見を尊重し、自主的な創意・工夫が生まれやすい職場づくりをしている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 定期的な研修等により知識・技術の向上を図り、職員の意欲や自信を育てている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 職場の人間関係が良好か把握し、必要に応じて助言・教育を行っている。
<p>（評価コメント）</p> <p>理念の実践や質の向上を図るため、改善点をその都度話し合う機会を設けている。小規模であるため職員間の接点（会話）が多く職員の自主的な創意・工夫が生まれやすい環境にある。ルーム保育室内には職員の手作りによる施設改善が随所に見られる。ルーム長は職員に対し、感謝の気持ちを表し、前向きな声掛けを通して、職員の意欲向上に努めている。毎月の園内研修や外部研修ではルーム長が必要と考える研修だけでなく、職員自身がその課題について選択できるようにしている。</p>		
5	全職員が遵守すべき法令や倫理を明示し周知している。	<input checked="" type="checkbox"/> 遵守すべき法令や倫理を文書化し、職員に配布されている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 全職員を対象とした、法令遵守と倫理に関する研修を定期的実施し、周知を図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/> プライバシー保護の考え方について、職員に周知を図っている。
<p>（評価コメント）</p> <p>法人が作成した倫理規定があり、入職時には説明を受け、職員はいつでも閲覧できるようになっている。年間の研修を通して法令遵守と倫理に関する事項の周知を図っている。個人情報及びプライバシー保護の重要性については適宜職員に確認し、管理の重要性を全職員に周知徹底している。</p>		
6	事業所の就業関係の改善課題について、職員（委託業者を含む）などの現場の意見を幹部職員が把握し改善している。また、福利厚生に積極的に取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/> ICT化の促進や保育補助者の活用等により、業務効率化を図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 記録業務、行事、会議等の簡素化などにより、業務改善を図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 担当者や担当部署等を設置し職員の有給休暇の消化率や時間外労働のデータを、定期的にチェックしている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 把握した問題点に対して、人材や人員体制に関する具体的な改善計画を立て実行している。
		<input checked="" type="checkbox"/> 職員が相談しやすいような組織内の工夫をしている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生事業を実施している。
<p>（評価コメント）</p> <p>連絡アプリ「コードモン」を活用し、業務の効率化や保護者との円滑な連携を図っている。また、会議ではZoomを活用したオンライン会議や研修も実施している。小規模事業（ルーム）であるため、職員は互いにコミュニケーションを取りやすく、就業関係の改善課題についても話しやすい環境にある。ルーム長は勤務整理簿・勤務時間の管理を行い、人員体制の計画をたて、掲示することで全職員が周知できるようになっている。年度当初に年間予定に各自の休暇希望日を組み込み、休暇を取得しやすい体制を整えている。福利厚生に関してはフィロソフィーノートに法人全体の親睦会会則が明記され、映画会や食事会なども実施されている。</p>		

評価項目		標準項目	
7	人事方針を策定し、人事を計画的・組織的に行い、職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	人材確保・定着・育成の方針と計画を立て実行している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	職務の権限規定等を作成し、職員の役割と権限を明確にしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	評価基準や評価方法を職員に明示し、評価の客観性や透明性の確保が図られている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	評価の結果について、職員に対して説明責任を果たしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	評価が公平に出来るように工夫をしている。
(評価コメント) 人事育成方針は法人の人材育成計画において明文化されている。人事育成等のマニュアルも整備されている。職員の役割は小規模保育ルームの職務分担表に明記されている。目標管理シートを基に年3回(4月・9月・3月)ヒヤリングを行い、評価改善点を伝えている。評価基準は就業規則に明示され、評価が公平にされるようになっている。			
8	必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	<input checked="" type="checkbox"/>	必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	福祉サービスの提供に関わる専門職(有資格の職員)の配置等、必要な福祉人材や人員体制について、具体的な計画がある。
		<input checked="" type="checkbox"/>	計画にもとづいた人材の確保や育成が実施されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	法人(福祉施設・事業所)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。
(評価コメント) ドレミルーム中長期計画の内容の一部に人材育成方針が明記されている。多様な福祉人材の確保として正社員・準社員・パート職員等を採用しており、非正規職員から正規への移行支援制度がある。新規採用職員についてはトレーナー制度を設けている。マイジョブノートを通してトレーナーとの信頼関係を築きながら新人職員が安心して働き学び成長していけるよう環境を整えている。			
9	職員の教育・研修に関する基本方針が明示され、研修計画を立て人材育成に取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/>	中長期の人材育成計画がある。
		<input checked="" type="checkbox"/>	職種別、役割別に能力基準を明示している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	研修計画を立て実施し、必要に応じて見直している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	個別育成計画・目標を明確にしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	OJTの仕組みを明確にしている。
(評価コメント) 職種・役割別能力基準を法人が明示し、人材育成計画を作成している。ルーム内では年間研修計画を作成し、園内・園外研修を実施している。全職員が参加できるよう調整している。園内は月1回行われればほぼ全員が参加している。園外の受講も偏りなく受講者が研修ができるよう努めている。テーマを設定した研修以外にも、職員の様子や、保育状況に合わせて随時研修を行い見直している。OJTの取り組みとしては新人職員に対し、トレーナー制度を利用して実施している。			
10	全職員を対象とした権利擁護に関する研修を行い、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している。	<input checked="" type="checkbox"/>	子どもの尊重や基本的人権への配慮について定期的に勉強会・研修を実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	日常の援助では、個人の意思を尊重している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	職員の言動、放任、虐待、無視などが行われることの無いように、職員が相互に振り返り組織的に対策を立て対応している。
(評価コメント) 職員の言動・放任・虐待・無視等が行われることがないよう、全職員が法人の作成した人権チェックリストを実施している。職員統一事項チェックリストでは25項目につき「はい」「いいえ」で回答でき、自らの保育を振り返る機会としている。また、職員の子どもへの言葉かけなどについて日常的に職員間での話題にし、改善を試みている。子ども一人ひとりの意思を職員が尊重していくよう相互に振り返る場を意識して設けている。			
11	個人情報保護に関する規定を公表し徹底を図っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	個人情報の保護に関する方針をホームページ、パンフレットに掲載し、また事業所等内に掲示し実行している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	個人情報の利用目的を明示している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	利用者等の求めに応じて、サービス提供記録を開示することを明示している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	職員(実習生、ボランティア含む)に対し、個人情報保護について研修等により周知徹底している。
(評価コメント) 個人情報の守秘義務については、職員の入職時に宣誓書を交わしている。個人情報保護に関する方針は法人のホームページ、パンフレットに記載し、ルームにも掲示している。また、法人としての個人情報使用同意書には利用者の求めに応じて、個人情報の開示・変更・削除を行う。			
12	利用者満足度の向上を意図した仕組みを整備し、取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/>	利用者満足度を把握し改善する仕組みがある。
		<input checked="" type="checkbox"/>	把握した問題点の改善策を立て迅速に実行している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	利用者・家族が要望・苦情を言いやすい体制を整備している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	利用者等又はその家族との相談の場所及び相談対応日の記録がある。
(評価コメント) 小規模ルームで保護者とのコミュニケーションは密に取れ、保護者の要望等を聞く機会が多い。保護者会や保護者個人面談も今年8月からは実施されさらに家庭の意向を聞く機会が多くなった。玄関には意見箱(ハートボックス)を設置してあるがあまり利用されていないのが現状である。問題点があった場合は迅速かつ誠実に見直し改善を行い、必要な場合は面談を行い、記録を残している。あまり要望を表明しない傾向のある保護者に対しては、ルーム側から日常のこどもの情報提供などを行い、要望等を引き出すよう心がけている。第三者評価制度を利用し、利用者満足度、改善点などを把握している。			
13	苦情又は意見を受け付ける仕組みがある。	<input checked="" type="checkbox"/>	保護者に交付する文書に、相談、苦情等対応窓口及び担当者が明記され説明し周知徹底を図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	相談、苦情等対応に関するマニュアル等がある。
		<input checked="" type="checkbox"/>	相談、苦情等対応に関する記録があり、問題点の改善を組織的に実行している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	保護者に対して苦情解決内容を説明し納得を得ている。
(評価コメント) 要望・苦情等に関する相談窓口については、入園案内に苦情解決責任者、苦情受付担当者、第三者委員について明記されている。また同様の内容が玄関に掲示されている。また、相談・苦情に関するマニュアルが用意されており、記録を付け問題点の改善を組織的に実行している。また苦情については保護者に解決内容を説明し納得を得られるよう努めている。			

評価項目		標準項目	
14	教育及び保育内容について、自己評価を行い課題発見し改善に努め、教育及び保育の質の向上を図っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育の質について自己評価を定期的に行う体制を整備し実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育の質向上計画を立て実行し、PDCAサイクルを継続して実施し恒常的な取り組みとして機能している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	自己評価や第三者評価の結果を公表している。
(評価コメント) 全職員が指導計画を基に毎月末にその月の保育を振り返る自己評価表の記入を行っている。月間評価の欄に振り返りを記入し、それを基に次月への目標を書き込むような書式になっている。毎月行うことで保育の質の向上を図っている。また年度末には年間の評価も行い次年度の目標へとつなげている。			
15	提供する教育及び保育の標準的実施方法のマニュアル等を作成し、また日常の改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	業務の基本や手順が明確になっている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	分からないときや新人育成など必要に応じてマニュアルを活用している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	マニュアル見直しを定期的を実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	マニュアル作成は職員の参画のもとに行われている。
(評価コメント) 提供する教育及び保育の標準的実施方法についてのマニュアルは法人によって作成されており、それに基づきながら当ルームの特性に合わせた日々の実践がなされている。またルームに合わせたマニュアルもあり、業務の基本や手順が明確化されている。内容は定期的にまた必要に応じて職員参画のもと見直しを行っている。			
16	保育所等利用に関する問合せや見学に対応している。	<input checked="" type="checkbox"/>	問合せ及び見学に対応できることについて、パンフレット、ホームページ等に明記している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	問合せ又は見学に対応し、利用者のニーズに応じた説明をしている。
(評価コメント) 問い合わせや見学の対応は、法人のホームページや松戸市情報子育てサイトに掲載されている。見学日時は、利用者の都合に配慮しているが、基本、午前中とし給食時の風景の見学をしていただき、パンフレットで園の特色などをルーム長が説明している。			
17	教育及び保育の開始に当たり、教育及び保育方針や内容等を利用者に説明し、同意を得ている。	<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育の開始にあたり、理念に基づく教育及び保育方針や内容及び基本的ルール等を説明している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	説明や資料は保護者に分かりやすいように工夫している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	説明内容について、保護者の同意を得るようにしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育の内容に関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している。
(評価コメント) 入園前説明会を実施し、入園案内の資料をもとに、保育理念、基本方針、保育内容をルーム長が説明し、重要事項説明に関する同意書に署名してもらう。持ち物は実際のものみせてわかりやすいようにしている。合同説明会後に保護者の意向等を個別面談で確認し入園状況表に記録し、職員で共有している。			
18	保育所等の理念や教育及び保育方針・目標に基づき全体的な計画が適切に編成されている。	<input checked="" type="checkbox"/>	全体的な計画は児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨をとらえて作成している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	全体的な計画は、教育及び保育の理念、方針、目標及び発達過程などが組み込まれて作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの背景にある家庭や地域の実態を考慮して作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	施設長の責任の下に全職員が参画し、共通理解に立って、協力体制の下に作成されている。
(評価コメント) 法人の全体的な計画が作成されている。保育理念・方針・目標ねらいと内容、安全な環境構成、家庭や地域との連携、職員の研修・体制、園の特色、食育、評価・改善などをベースに、職員の意見などを参考にし毎年3月の幹部会で見直しを行い全職員の共通理解に立って、協力体制の下に作成されている。			
19	全体的な計画に基づき具体的な指導計画が適切に設定され、実践を振り返り改善に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	全体的な計画に基づき、こどもの生活や発達を見通した長期的な指導計画と短期的な指導計画が作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	乳児、1歳以上3歳未満児、障害児等特別配慮が必要なこどもに対しては、個別計画が作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	発達過程を見通して、生活の連続性、季節の変化を考慮し、こどもの実態に即した具体的なねらいや内容が位置づけられている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	ねらいを達成するための適切な環境が構成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	指導計画の実践を振り返り改善に努めている。
(評価コメント) 全体的な計画に基づき、年間、月間、週日案、個別計画を作成している。こどもの姿、ねらい、環境構成や保育者の援助などを記載し、評価・反省の振り返りを行っている。週日案の書式は1、2歳児共通の保育活動を1枚で作成し合同管理して合理的であるが、年齢別の発達の差を考慮した配慮点等は1歳児、2歳児に分けて明記すると全職員が共有しやすいと思われる。			
20	こどもが主体的に活動できる環境が整備されている。	<input checked="" type="checkbox"/>	こども一人ひとりを受容し、こどもの状態に応じた保育の内容や方法に配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの発達段階に即した玩具や遊具などが用意されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもが自由に素材や用具などを自分で取り出して遊べるように工夫されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	好きな遊びができる場所が用意されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもが自由に遊べる時間が確保されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育者は、こどもが主体性を発揮できるような働きかけをしている。
(評価コメント) 玩具はこどもがとりやすい高さの棚に収納され、自由に遊べる。絵本や職員手作りの玩具がたくさん用意されていて、こどもの興味や関心に重きをおき、好きな遊びができるようにコーナー遊びを充実させている。限られたスペースをパーティションで仕切ることで、静の遊び、動の遊びができるよう工夫している。朝の会で、今日の活動内容をこどもたちに知らせることで期待や意欲をもたせるなど働きかけをしている。			

評価項目		標準項目	
21	乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの状態に応じて食事や睡眠を十分に取ることでできる機会や環境が確保されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	十分に体を動かすことでできる機会や空間が確保され、こどもの個人差や興味、関心に沿った保育室の環境を整えている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	語りかけや歌いかけ、体の動きや表情、発声や喃語等への応答など愛情豊かで受容的・応答的な関わりをしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に務めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。
(評価コメント) 0歳児在籍せず非該当			
22	1・2歳児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/>	基本的な生活習慣等について、こどもが自分でしようとする気持ちを尊重している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	友だちの気持ちや友だちとの関わり方を丁寧に伝えている。(こどもの気持ちを代弁して、お互いの気持ちに気づけるように関わり方を丁寧に伝えている。)
		<input checked="" type="checkbox"/>	周知の環境や人・ものへの探索行動を存分にできるよう、安全に配慮しながら環境を整備し、様々な遊びを取り入れている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に務めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。
(評価コメント) 基本的な生活習慣などは一人ひとりの発達を理解し援助や言葉かけを行っている。2歳のトイレトレーニングは家庭と連携し褒めて段階的に進める様個人面談等でも保護者にアドバイスをしている。保育室はクッションフロアで、危険な箇所はラバー、転倒防止ストッパーを設置している。送迎時には保護者に声をかけて、家庭でのこどもの様子や保育園の様子などを直接話すようにしている。入園児の面談で得られたこどもの情報は月末のクラス会で職員全員で共有している。			
23	3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/>	基本的な生活習慣等について、自分でやり遂げたという満足感を味わわせるよう配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	他のこどもと多様な関わりがもてるように援助している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの興味や関心を引き出すことができるよう、こどもの能動性を引き出す自由な空間や物を配置している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に務めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。
(評価コメント) 非該当			
24	身近な自然や地域社会と関わるような取組みがなされている。	<input checked="" type="checkbox"/>	こどもが自然物や動植物に接する機会を作り、教育及び保育に活用している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	散歩や行事などで地域の人達に接する機会をつくっている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	地域の公共機関を利用するなど、社会体験が得られる機会をつくっている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	季節や時期、こどもの興味を考慮して、生活に変化や潤いを与える工夫を日常教育及び保育の中に取り入れている。
(評価コメント) 天気の良い日は、連携園の園庭や第二園庭、近隣の公園や散歩に出かけている。市場の魚屋さんで蟹や魚をみせてもらったり、お店さんごっこの行事の時は市場や商店街の様々なお店を見学し地域の方と交流するなどの社会体験をして学んでいる。ヨットの折り紙制作を壁面に掲示したり、保育士制作の風鈴を天井からつるすなど保育室に季節感を取り入れている。			
25	遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/>	こども同士の関係をより良くするような適切な言葉かけをしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	けんかや気持ちのぶつかり合いが発生した場合、危険のないように注意しながら、こども達同士で解決するように援助している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	順番を守るなど、社会的ルールを身につけていくように配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもが役割を果たせるような取組みが行われている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもが自発性を発揮し、友だちと協同して活動できるよう援助している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	異年齢のこどもの交流が行われている。
(評価コメント) けんかやトラブルの発生時は安全確保を第一にこどもの発達に合わせて保育士が気持ちを代弁し、解決できるように援助している。手洗い場の順番やマット遊びの順番、おもちゃを種類別に片づけるなど、保育の中でルールを身につけている。ワンフロアで毎日登園後は異年齢交流があり、一緒に遊んだり、給食を食べたりすることで、互いに思いやりや協調性を学べる機会となっている。			
26	特別な配慮を必要とするこどもの教育及び保育が適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	こども同士の関わりに対して配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	個別の指導計画に基づき、きめ細かい配慮と対応を行い記録している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	個別の指導計画に基づき、保育所等全体で、定期的に話し合う機会を設けている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	障害児教育及び保育に携わる者は、障害児教育及び保育に関する研修を受けている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	保護者に適切な情報を伝えるための取組みを行っている。
(評価コメント) 特別な配慮を要するこどもには、保護者の同意を得て松戸市こども発達センターの巡回指導を受ける体制が整っている。隣接した法人のリヴクルー野菊野の児童発達支援が受けられ、利用者は週2回のルーム間の送迎で支援を受けられる。インクルーシブ保育や、多様なこどもの発達支援についての研修を受け、職員全員が共有し、保護者にも面談や送迎時に情報を伝えるなど配慮している。			

評価項目		標準項目	
27	保育時間の長いこどもに対して配慮がなされている。	<input checked="" type="checkbox"/>	担当の職員が変わる場合には、引き継ぎが適切に行われ、必要に応じて保護者に説明されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	担当職員の研修が行われている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもが安心・安定して過ごせる適切な環境が整備されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	年齢の異なるこどもが一緒に過ごすことに配慮している。
(評価コメント) 引継ぎ事項は連絡メモに記載し、口頭でも朝夕申し送りを行っている。伝え漏れがあるときは、電話で対応している。延長保育時はこどもの好きな遊びの提供やスキンシップをとり、眠い時は布団で寝かせている。おせんべいなどのおやつを提供や水分補給に配慮し安心して過ごせる環境が整備されている。			
28	家庭との連携が十分図られている。	<input checked="" type="checkbox"/>	一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、こどもの発達や育児などについて、個別面談、教育及び保育参観、参加、懇談会などの機会を定期的に設け、記録されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	保護者からの相談に応じる体制を整え、相談内容が必要に応じて記録され上司に報告されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	外国籍家庭や外国にルーツをもつ家庭、ひとり親家庭、貧困家庭等、特別な配慮を必要とする家庭について、保護者の意向や思いを理解できるよう努めるとともに、必要に応じて個別の支援を実施している。
(評価コメント) 送迎時の会話やルームだより以外に連絡アプリで毎日コミュニケーションを配信し情報を保護者に伝えている。懇談会での親子触れ合い遊びや親子制作のほか保育写真アルバム公開は、懇談会後のアンケートで保護者から子どもの様子よくわかると感謝の声が多数上がっている。今年度8月から個人面談が全保護者対象に実施しており家庭との連携が十分図られている。外国籍の保護者には個別に手紙を書いて連絡事項などが理解できるよう支援している。			
29	地域社会との連携が十分図られている。	<input checked="" type="checkbox"/>	小・中学校などの生徒の体験学習や実習を受け入れたり、高齢者との交流を行ったりするなど、地域社会との交流を図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	就学に向けて、保育所等のこどもと小学校の児童や職員同士の交流、情報共有や相互理解など小学校との積極的な連携を図っている。(小規模事業所は該当せず 非該当区)
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの育ちを支えるため、保護者の理解のもと、認定こども園園児保育等安眠及び保育所児童保育要録などが保育所等から小学校へ送付している。(小規模事業所は該当せず 区)
(評価コメント) 野菊野こども園の夏祭りや合同運動会に参加している。散歩で日常的に地域住民の方々に挨拶をしたり、市場や商店街方々との交流がある。			
30	家庭での虐待等権利侵害の疑いのあるこどもの早期発見・早期対応に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの心身の状態を観察し、家庭での不適切な養育の兆候や、虐待の把握に努めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	家庭での不適切な養育の兆候や、虐待が疑われる場合には、所長に報告し継続観察を行い記録している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	虐待被害にあったこどもがいる場合には、関係機関と連携しながら対応する体制を整えている。
(評価コメント) 登園時や着替え時に観察し、いつもと違う様子が見られた場合は、連携園に報告・共有し継続観察を行い記録している。虐待が疑われる場合は、関係機関と連携しながら対応している。職員の不適切指導については、人権チェックリストを活用したり、ルーム長が指導している。			
31	こどもの健康状態、発育、発達状態が適切に把握し、健康増進に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの健康に関する保健計画を作成し、心身の健康状態や疾病等について把握・記録され、嘱託医等により定期的に健康診断を行っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	保護者からの情報とともに、登所時及び教育・保育中を通じてこどもの健康状態を観察し、記録している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	職員に乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する知識を周知し必要な取り組みを行い、保護者に対して必要な情報を提供している。
(評価コメント) 児童健康生活調査票や登園時や保育中の健康観察で心身の健康状態を把握している。年2回の定期健康診断と年1回2歳児の歯科検診を実施し記録している。毎月の身体測定の結果は連絡アプリで保護者に伝えている。乳幼児突然死症候群に関しては、睡眠中10分毎に体勢、顔色、呼吸数を確認し記録している。			
32	感染症、疾病等の対応は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	感染症発生時における業務継続計画(BCP)が策定され、定期的な見直しを実施するとともに職員に周知されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育中に体調不良や傷害が発生した場合には、そのこどもの状態等に応じて、保護者に連絡するとともに、適宜、嘱託医やこどものかかりつけ医等と相談し、適切な処置を行っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	感染症やその他の疾病の発生予防に努め、その発生や疑いがある場合には、必要に応じて嘱託医、市町村、保健所等に連絡し、その指示に従うとともに、保護者や全職員に連絡し、協力を求めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの感染・疾病等の事態に備え、医務室等の環境を整え、救急用の薬品、材料等を常備し、適切な管理の下に全職員が対応できるようにしている。
(評価コメント) 感染症発生時は、玄関に掲示や連絡アプリで保護者に伝える。嘔吐物処理セットは手順法のマニュアルと一緒にすぐに処置できるように用意されている。体調不良発生時は保護者に連絡し、病児・病後児保育室との連携で適切な処置を行っている。怪我の場合は、応急処置を行い、保護者に連絡して必要に応じてルーム長や保育士が同行して受診するなど対応している。			

評価項目		標準項目	
33	食育の推進に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	食育の計画を作成し、教育及び保育の計画に位置付けるとともに、その評価及び改善に努めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもが自らの感覚や体験を通して、自然の恵みとしての食材や調理する人への感謝の気持ちが育つように、こどもと調理員との関わりなどに配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	体調不良、食物アレルギー、障害のあるこどもなど、一人一人のこどもの心身の状態等に応じ、嘱託医、かかりつけ医等の指示や協力の下に適切に対応している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	食物アレルギー児に対して誤食防止や障害のあるこどもの誤飲防止など細かい注意が行われている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	残さず食べることや、偏食を直そうと強制したりしないで、落ち着いて食事を楽しめるように工夫している。
(評価コメント)			
隣接こども園(基幹園)の栄養士が食育計画を作成している。それをもとにルームとして保育の中に食育を取りいれている。イラストでジャガイモの成長過程をみせたり、蓮根、ピーマン、ナス、ジャガイモ、人参を使った野菜スタンプ遊びを通して興味・関心を育てている。食物アレルギー児の給食は、こども園の調理室から受け取り、配膳、提供までを職員が表で確認共有し、別トレー、別テーブルで職員が側につくことで誤飲・誤食防止に努めている。			
34	環境及び衛生管理は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	施設の温度、湿度、換気、採光、音などの環境を常に適切な状態に保持するとともに、施設内外の設備及び用具等の衛生管理に努めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こども及び職員が、手洗い等により清潔を保つようにするとともに、施設内外の保健的環境の維持及び向上に努めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	室内外の整理、整頓がされ、こどもが快適に過ごせる環境が整っている。
(評価コメント)			
保育室は温度湿度計、エアコン・次亜塩素酸空気清浄機、扇風機、ローラーカーテンなどを設置している。保育室は整理整頓されていて、職員が清掃や玩具の消毒を毎日行い、洗面所には、うがいの仕方のイラストが掲示され、手拭き用のペーパータオルが設置されていて衛生的な環境である。			
35	事故発生時及び事故防止対策は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	事故発生時の対応マニュアルを整備し職員に徹底している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	事故発生原因を分析し事故防止対策を実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	設備や遊具等保育所等内外の安全点検に努め、安全対策のために職員の共通理解や体制づくりを図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	危険箇所の点検を実施するとともに、外部からの不審者等の対策が図られている。
(評価コメント)			
事故発生時の対応マニュアルを作成し、事故発生時に迅速かつ適切な行動がとれるように、リングでまとめた「指示カード」を設置し、緊急時にやるべき事柄を職員は周知して対応できるように工夫している。安全点検チェックリスト、ヒアリング報告書、事故報告書を作成し、安全管理、事故防止対策を実施している。散歩安全マニュアルがあり、園外での危険箇所の確認や公園の遊具の安全点検に努めている。玄関はインターホンで確認し開錠している。不審者対策はこども園及び1、2階の2ルーム職員が合同で警察官による研修を受けており、その経験をもとに子どもたちの前で職員が不審者役を演じるなどして安全・安心の確保に取り組んでいる。			
36	地震・津波・火災等非常災害発生時の対策は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	災害発生時における業務継続計画(BCP)が策定され、定期的な見直しを実施するとともに職員に周知されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	地震・津波・火災等非常災害発生に備えて、役割分担や対応等マニュアルを整備し周知している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	定期的に避難訓練を実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	避難訓練は消防署や近隣住民、家庭との連携のもとに実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	立地条件から災害の影響を把握し、建物・設備類の必要な対策を講じている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	利用者及び職員の安否確認方法が決められ、全職員に周知されている。
(評価コメント)			
災害時における業務継続計画(BCP)が策定され、定期的に見直しされている。災害対応マニュアルを作成している。毎月、地震・火災・風水害・不審者を想定した避難訓練を実施し避難経路や役割分担も周知している。絵本や紙芝居や避難訓練用の「おはし」の標語のイラストを活用し指導している。保護者には、アプリや災害伝言ダイヤルを使った引き取り訓練を年1回実施している。備蓄品リストを作成し水、パン、おにぎりなどの非常食は賞味期限を確認し、防災の日に試食している。			
37	地域ニーズを把握し、地域における子育て支援をしている。	<input checked="" type="checkbox"/>	地域の子育てニーズを把握している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	子育て家庭への保育所等機能を開放(施設及び設備の開放、体験保育等)し交流の場を提供し促進している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	子育て等に関する相談・助言や援助を実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	地域の子育て支援に関する情報を提供している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもと地域の人々との交流を広げるための働きかけを行っている。
(評価コメント)			
地域の子育てに関するパンフレットは玄関に設置している。歩道にある掲示板にはルームの園児募集や子育て支援センターのなどの地域子育て支援情報を掲示している。体験保育等は提供していないが、ルームの窓には、「育児相談」・「ミルクのお湯提供します」・「おむつ替えます」のピクトグラムを掲示しているが、利用者はいない。今後はもっと気軽に立ち寄ってもらえるように、ルームのこどもの様子や保育内容を地域の方々にアピールして、一緒に遊んだり、制作したりする日を設けるなど交流の場を提供していただきたい。			